

ふれあいの発進

9月 



10月 



認知症ケア委員会勉強会

認知症ケア委員会の勉強会を、年に2回行っています。

今回は、まず職員自身が認知症自己診断テストを行いました。答え合わせを行う時の表情がいろいろで、正解に安心したり、不正解に緊張感を持ったりと関心を持って取り組みました。また四大認知症についても勉強しました。事例を使って特徴的な症状を知り、認知症をきちんと理解できるように進めていきました。症状をきちんと理解しておくことで、日頃のケアに役立つことがあると思います。

認知症ケアは、「その人を知る」ということがとても大きく関わってきます。現在委員会では、より良く「その人を知る」方法や認知症を学ぶことが重要と考え、活動に取り組んでいます。そして、今後のケアには是非活かしていきたいと思っています。



中堅職員研修会

9月に大阪で開催された「中堅職員研修会」に参加しました。

人材育成方法として活用するコミュニケーションの手法や、利用者様の目標達成に向けて行うものなど、自発的な行動を促すことでそれぞれの能力を引き出させることを学びました。どちらも共通するのは、自分が意識して会話をするに他なりません。職場での円滑なコミュニケーションを図るには、自らが行動を起こして実践していくことだと思います。より良い職場環境ができれば、利用者様への適切なケアを職員全体で共通して行えるようになるのではと考えます。

最高のホスピタリティ（おもてなしの心）を提供することを一人一人が意識して職務に当たれば、見えないところからでも確実に施設の成長に繋がると思います。まずは、自分自身からお手本になれるよう向上心を持ち、ケア技術を磨き、真摯に利用者様と向き合いながら努力していこうと思います。

(介護福祉士 本多豊人)

県老健実地研修

9月中旬、老人保健施設アイリスで在宅復帰・在宅支援について研修を受けてきました。

その研修の中で、特に印象に残ったのは、一人暮らしをされている90代男性の方の、退所後訪問に同行させていただいた時のことです。

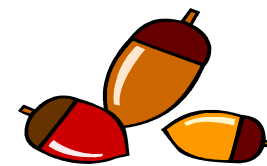
ポットをやかんと間違えガスコンロにかけ、ポットの底が溶けていました。それでも「家はええ」と笑顔でおっしゃっていました。皆が一人暮らしの生活を反対する中、「どうしても家で暮らす」と自分の意思を曲げられなかったそうです。認知症があっても、その人の意向を叶えてあげられるような施設の取り組みと、ご本人の『生きる力』に感動しました。

当館も、ご本人の意向を優先した在宅復帰在宅支援に力を入れていきたいと思っています。

(介護部門長 安田佐代)

行事

- 11月15日(金) カラオケ大会
- 11月22日(金) 誕生会
- 11月29日(金) 寿司屋台
- 12月17日(火) 誕生会
- 12月24日(火) クリスマス会
- 12月26日(木) もちつき



一般社団法人 南宇和郡医師会
老人保健施設
なんぐん館
 南宇和郡愛南町御荘深泥703-2
 TEL (0895) 73-1021
 発行責任者 施設長 伊藤 孝徳

朝晩肌寒くなり、紅葉も観られるようになって、秋の深まりを実感しています。先日のラグビーワールドカップでの日本代表の姿を見て、私も運動しようと思いましたが、まだ重い腰が上がりません。皆様も体調には気を付けて、スポーツの秋を楽しんではいかがですか。

編集後記

10月18日 第22回文化祭を開催しました。午前中は、ホーム喫茶でコーヒーなどを飲みながら過ごされたり、出張販売で商品を選んで頂いたり、ワクワクした気持ちと笑顔で過ごされました。午後からは、船越保育園の園児さんによるかわいい歌や踊りも見られ、楽しい時間を過ごすことができました。